

令和5年度高知県若年性認知症フォーラム ～ 認知症と共に生きる ～

「現役世代」でも認知症は発症します。認知症当事者の思いに触れ、身近なこと、自分ごととして認知症を考えてみませんか？

日時 令和6年3月2日（土）
10時00分～11時45分（開場 9時30分）

対象 どなたでも
ご参加いただけます

会場 高知城ホール 4階 多目的ホール
（高知市丸ノ内二丁目1番10）

参加費 無料

定員 会場（定員：130名程度）
またはリモート（Zoom）

事前申込

講演 1（10時10分～10時30分 予定）

認知症になってからの
セカンド・ストーリー

山中しのぶ氏



1977年生まれ。高知県南国市在住。3人の男の子の母。2018年に認知症を扱ったテレビドラマを観ていた息子に認知症を疑われ受診し、2019年2月に若年性アルツハイマー型認知症と診断を受ける。当時、携帯販売の営業職として15年間勤務していたが、体調を崩し2021年6月末に退職。現在は、認知症になっても暮らしやすい街づくりをしたいと思い一般社団法人「セカンド・ストーリー」を設立し、2022年10月からは有償ボランティアを活動に取り入れたデイサービス「はっぴい」を香南市に開所。また、講演会などでご自身のことをお話しする等の活動をされており、2022年1月には認知症のご本人が認知症への社会の理解を促す活動等を行う「高知家希望大使」に就任。

講演 2（10時30分～11時 予定）

認知症とともに生きる

丹野智文氏



1974年宮城県生まれ。東北学院大学卒業後、ネットトヨタ仙台入社。トップセールスマンとして活躍中の2013年、若年性アルツハイマー型認知症と診断される。診断後は営業職から事務職に異動し勤務を続け、現在は認知症への社会的理解を広げる活動が仕事になっている。2015年より、認知症当事者のためのもの忘れ相談窓口「おれんじドア」を開設、実行委員会代表。精力的に自らの経験を語る活動に力を入れており、令和2年から著書に「丹野智文 笑顔で生きる－認知症とともに－」（文藝春秋）ほか。また、令和5年に公開された映画「オレンジ・ランブ」のモデル。2020年1月には認知症への理解と関心を深める普及啓発を行う国の「希望大使」に就任。

ディスカッション

【当事者】 丹野 智文 氏、山中しのぶ 氏

【コーディネーター】 矢吹 知之 氏 高知県立大学社会福祉学部 准教授
認知症介護研究・研修仙台センター
特任研究員

（11時～11時45分 予定）

本人交流会

※フォーラム終了後に
開催します

【対象】 認知症のご本人とご家族

【日時】 フォーラム終了後～13時

【場所】 高知城ホール 2階 小会議室

【定員】 10名程度

事前申込

【参加費】 無料

※お弁当を希望される場合は1,100円となります。
お申込時にお知らせください。
弁当代は当日に集金します。

丹野さんと山中さんを囲んで、お弁当を食べながら、病気・不安・仕事・将来の夢など、何でも話合ってみませんか。同じ病気を持つ仲間同士での交流会です。

初めての方もどうぞ気軽にお申込みください。

申込方法

高知県電子申請システムにて、令和6年2月22日（木）までにお申し込みください（裏面にQRコード及びURLがあります）。

スマートフォンやパソコンをお持ちでない等の電子申請が難しい方は、高知県在宅療養推進課（088-823-9848）までお電話にてお申し込みください。

令和5年度高知県若年性認知症フォーラム・本人交流会

参加申し込み

以下のQRコードまたはURLから電子申請システムへアクセスのうえ、お申し込みください。

スマートフォンやパソコンをお持ちでない等の電子申請が難しい方は、下記問合せ先へお電話でお申し込みください。

■QRコード



申込期限

令和6年2月22日(木)

■URL

https://apply.e-tumo.jp/pref-kochi-u/offer/offerList_detail?tempSeq=8933

会場へのアクセス

■車

- ・JR高知駅から車で5分
- ・会場の駐車料金
収容台数：30台
料金：200円/時
- ・会場駐車場が満車の場合は、周辺駐車場をご利用ください。

■とさでん

- ・最寄り駅 高知城前電停
- ・下車 徒歩約10分

■JR

- ・最寄り駅 入明駅
- ・下車 徒歩約10分



【問合せ先】

高知県健康政策部在宅療養推進課 連携推進担当 横山、濱崎

〒780-8520 高知市丸ノ内1丁目2番20号

TEL 088-823-9848